

第100回津久井地区まちづくり会議全体会結果

- ・日 時:令和5年6月13日(火) 午後7時00分～7時45分
- ・場 所:津久井総合事務所 3階 第1・2会議室
- ・出席者:委員19名出席(3名欠席、1団体未選任)
- ・傍聴者:なし

1 開 会 高井副代表

2 代表あいさつ 熊谷代表

3 情 報 提 供

(1)森のイノベーションラボ FUJINO の取組について(緑区役所地域振興課)

- ・森ラボを交流拠点とした取組や、進行中のプロジェクト、及び中山間地域の目指す姿の実現に向けた森ラボの主な取組等について説明を受けた。また、初心者向けのスマホ教室の実施についても報告を受けた。

<主な意見等>

○渋谷区のトイレに使用している木材との関連性は。

⇒渋谷区のトイレプロジェクトにて整備されたトイレの内装に、桜やコナラなどの津久井産材が使用されている。森ラボとの関連はない。因みに津久井産材の提供団体は「(一社)さがみ湖森・モノづくり研究所」である。

○スマホ教室は藤野以外の者でも参加可能か。

⇒問題ない。

4 協 議 事 項

(1)地区まちづくりを考える懇談会について

- ・懇談内容やテーマ設定における注意点について事務局から説明を行った。

<主な意見等>

○過去に実施した懇談会での発信内容において、単なる要望や、市側に事業説明を求めたことがあったのか。

⇒他地区では、道路の整備等を要望されたことがあり、活発な意見交換が出来なかったことから、資料1のとおり懇談内容についての注意喚起が発せられている。

○まちづくり会議の場へ他部署の出席要請は実際に可能なのか。

⇒可能である。例えば、全市的に防災に対する関心が高いため、危機管理局が出席した事例はある。

(2)地区まちづくりを考える懇談会の日程について

- ・市民協働推進課から、各地区における懇談会の実施及び日程希望についての調査が来ている旨を説明し、事務局案として12月の実施を提案した。

<主な意見等>

○年末は極力避けてもらいたい。

⇒協議の結果、第1候補:12月12日(火)、第2候補:12月14日(木)として報告することとした。

5 そ の 他

- ・各専門部会長から今後の方針について説明を受けた。
- ・秋本委員から、鳥屋地区の自然災害伝承碑「地震峠」に係る取組について、NHK で放送される旨の紹介があった。「首都圏ネットワーク:関東大震災の取組コーナー、日時:令和5年6月16日(金)18:00~19:00(内4分程度)」
- ・次回まちづくり会議全体会の日時について確認を行った。

6 閉 会 佐藤副代表

以 上